

「進捗管理・点検・評価表」と「EBPMアクションプラン」の 役割及び関係について

令和 7 年 8 月 1 9 日

「進捗管理・点検・評価表」と「EBPMアクションプラン」の役割

- 「進捗管理・点検・評価表」では、事前に想定したロジックモデルに基づき、各府省において成果を測定するための指標と目標を設定。その上で、本委員会において目標達成度合いや進捗状況を定期的にモニタリング。
- 併せて「EBPMアクションプラン」において、施策が成果にどのような影響を与えたのか（因果関係等）を明らかにしていく。これらを両輪に、ロジックモデルや施策の改善につなげ、限られたリソースから高い政策効果を生み出す。

「進捗管理・点検・評価表」

成果指標を設定し、目標達成度合いや進捗状況を定期的にモニタリング。

KGI

KPI第2階層

KPI第1階層

政策目標

最終アウトカム

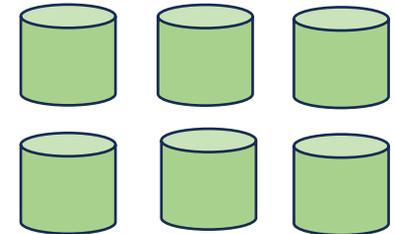
中間アウトカム

アウトプット

EBPMアクションプラン

施策が成果にどのような影響を与えたのか（因果関係、寄与度）を統計的な手法も用いながら分析・検証。

施策



「進捗管理・点検・評価表」と「EBPMアクションプラン」の関係

- 「進捗管理・点検・評価表」及び「EBPMアクションプラン」に基づき、必要に応じて、ロジックモデル、施策の在り方、または施策の推進体制を見直すことが必要。
- これらを通じて、下記①のように「政策目標との因果関係が強い施策（有効性が高い施策）」の「進捗度」を高めることを通じて、政策目標の達成を目指す。

「EBPMアクションプラン」の役割

強

施策と政策目標等の因果関係
(ロジックモデル全体の正しさ)

弱

高

「進捗管理・点検・評価表」の役割

KGI等の進捗度

低

① 「因果関係」 = 強、「進捗度」 = 高

▶ 目標達成に向けた施策の方向性が正しい可能性が高く、施策の進捗も芳しい。引き続き、施策を推進するとともに適時・適切にモニタリングを実施。

② 「因果関係」 = 弱、「進捗度」 = 高

▶ KPIやKGIの進捗が高い場合でも、施策とは別の要因によるものである可能性。ロジックモデルの見直しをするとともに、必要に応じて、施策自体の見直しを検討。

③ 「因果関係」 = 強、「進捗度」 = 低

▶ 目標達成に向けた施策の方向性は正しい可能性が高いものの、何らかの阻害要因により施策やKPI等の進捗が芳しくない可能性。施策の推進体制などについて検討し、①の状況への移行を目指す。

④ 「因果関係」 = 弱、「進捗度」 = 低

▶ 施策の推進体制はもちろんのこと、そもそも施策の方向性が正しくない可能性が高い。施策の推進体制に加えて、ロジックモデルや施策自体の見直しを直ちに検討。